
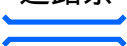




4. 中心市街地の道路体系

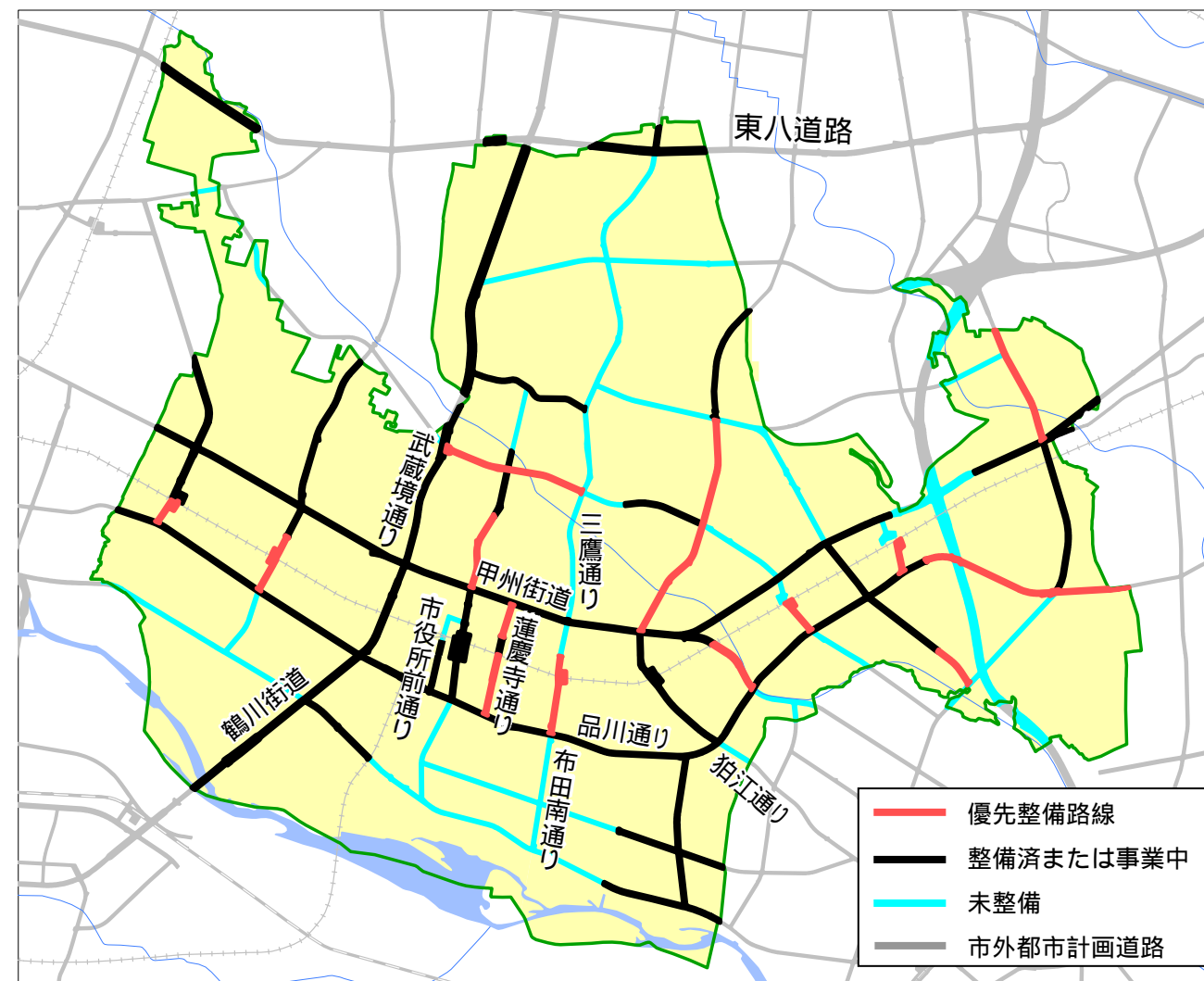
道路整備の考え方



表：道路の種類とその役割

道路区分	道路の役割
幹線道路系 	調布と世田谷、調布と三鷹など都市間を連絡し通過交通を主にさばく道路で、市の道路網全体の骨格の役割を果たす道路です。 甲州街道、狛江通り、鶴川街道、三鷹通り、品川通り など
補助幹線道路系 	地域の交通を集め幹線道路に連絡する、幹線道路の補助的な道路で、地域交通の中心的な役割を果たす道路です。 市役所前通り など
生活道路系 	地区の交通の中心となる道路で、地区の施設を連絡し、通勤・通学あるいは買い物等のほか、散歩や遊びを目的とした生活交通に密着した道路です。
歩行緑道系 	歩行者専用道路（緑道）や自転車専用道などの道路です。

調布市全体の道路網整備(都市計画道路)



調布市内の都市計画道路体系は上図のとおりです。

このうち、赤で示された「優先整備路線」については、今後10年間で優先的に事業化を図っていく路線で、連続立体交差事業と一体的に整備される、蓮慶寺通り、布田南通りなどが含まれています。

また、鶴川街道、市役所前通り（一部区間を除く）、狛江通りについては、連続立体交差事業に併せ、現在事業中の路線となっています。

調布市中心市街地の幹線道路網と鉄道敷地周辺道路の状況

